

羽 川 崎 柏
再 稼 再

安全評価後も認めず

新潟知事「虚構」と指摘

京都 H23.7.27

新潟県の泉田裕彦知事は26日、定期検査中の東京電力柏崎刈羽原発2〜4号機について、欧州諸国で導入されたストレステスト(耐性評価)を参考にした「安全評価」を実施後も、福島第1原発事故の検証が行われな

い限り、再稼働を認めないとの考えを示した。海江田万里経済産業相との会談後、記者団に語った。

「安全評価で絶対安全(が確認される)とは受け止めない。安全という虚構の下で(再稼働を)やるのはあり得ない」と明言した。

柏崎刈羽原発は、2007年の中部沖地震で全7基のうち稼働し

ていた4基が緊急停止。うち1基は09年に運転を再開したが、2〜4号機はそのまま定検停止中となつてい

る。8月には運転中の

3号機放射線量ロボットで測定

福島第1

東京電力は26日、福島第1原発3号機で、原子炉建屋の2階に事故後初めてロボットを投入し、放射線量を測

定。北東部分で毎時20〜75ミリシーベルトと高く作業するには遮蔽(しゃへい)が必要と判明した。

また泉田知事は「ま

ず最初に福島第1原発事故の検証を行い、情報を含み隠さず出して

いた方がいいと強調。津波に伴う全電源喪失だけでなく、地震の揺れによる配管破断が

3号機の原子炉には現在、燃料のある炉心と圧力容器を隔てる筒

状の炉心隔壁(シユラウド)の外側から注水している。東電は冷却効果を高めるよう、燃料に直接水をかける方法への切り替えを検討しており、この日の調査は、それに必要な作

業をする場合の環境を調べる目的。

ロボットは、千葉工業大と東北大などが開発した国産の「クイン

ス」。3階も調査する予定だったが、がれきのため上れなかった。

4基のうち2基も定検停止する予定。

泉田知事は安全評価についてこれまで「何を目標にしてやるのかよく分からない」などと批判。同日は全国知事会を代表し、原発事故の早期収束や情報公開の徹底を求めた要望書を提出するため経産相を訪ねた。

知事は安全評価について「やらないよりやった方がいいレベルのもの。事故の検証が終わっておらず、(原因を)考慮に入れないのなら、気休めでしかない」と指摘。その上で

「安全評価で絶対安全(が確認される)とは受け止めない。安全という虚構の下で(再稼働を)やるのはあり得ない」と明言した。

また泉田知事は「まず最初に福島第1原発事故の検証を行い、情報を含み隠さず出して

いた方がいいと強調。津波に伴う全電源喪失だけでなく、地震の揺れによる配管破断が

3号機の原子炉には現在、燃料のある炉心と圧力容器を隔てる筒状の炉心隔壁(シユラウド)の外側から注水している。東電は冷却効果を高めるよう、燃料に直接水をかける方法への切り替えを検討しており、この日の調査は、それに必要な作業をする場合の環境を調べる目的。

京都新聞社の電話番号	
本社	075(241)6119
報道部	5429
編集局	6117
印刷部	6129
営業部	6135
庶務部	5421
総務部	5277
経理部	6186
施設部	077(523)3131
情報部	077(563)6111
編集局	0748(33)3275
支社	03(3572)5414
支社	06(6105)3000
支社	0774(45)1212
支社	0774(63)7433
支社	075(933)1121
支社	0773(22)1777
支社	0771(22)3515
支社	075
支社	(255)9757
支社	(241)6172
支社	(241)5928
支社	075(256)0007
支社	075(241)5430
支社	0120-464-468